

アーキテクチャ構築 & 改善

カテゴリ構造図

全体を俯瞰した一枚の構造図

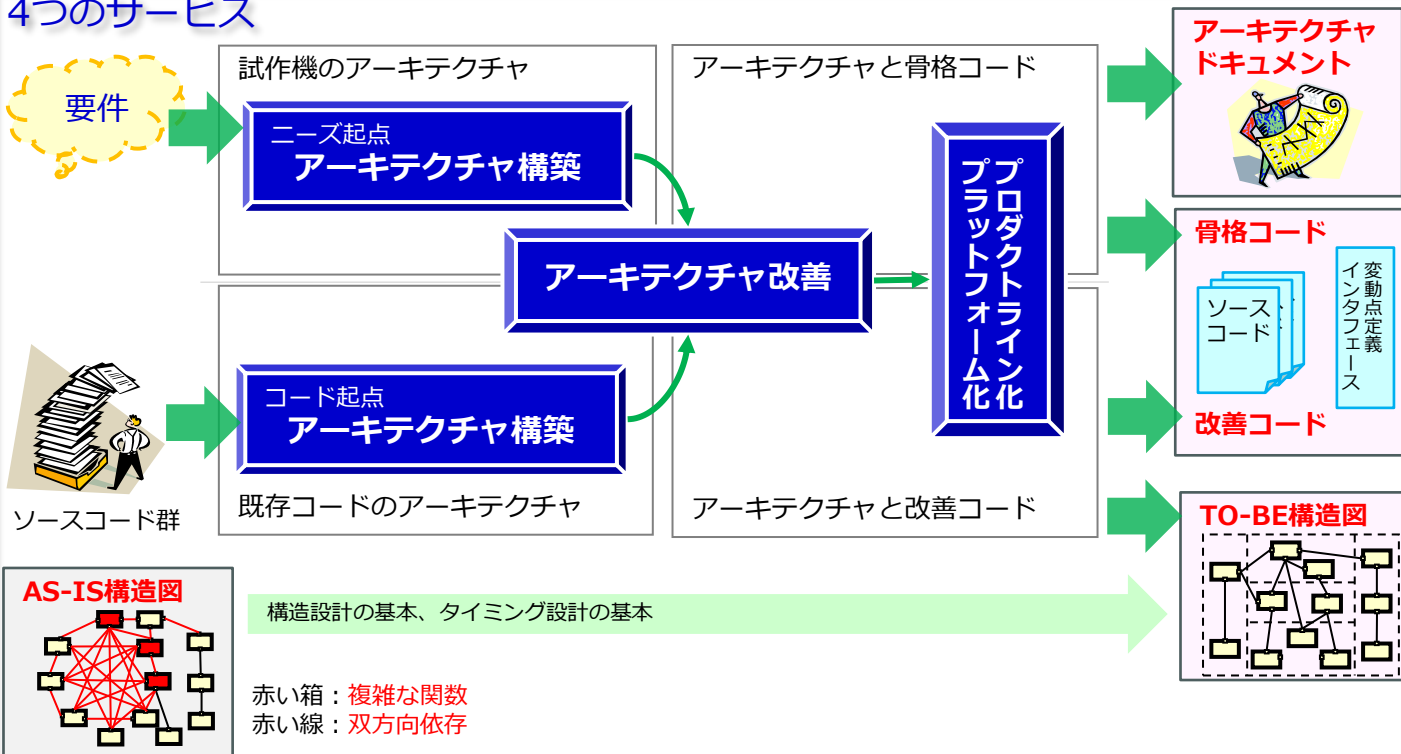
インタフェース 門番

カテゴリ間IFの定義と保全

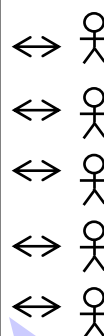
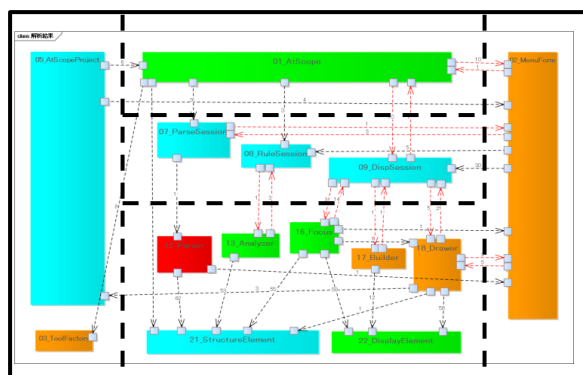
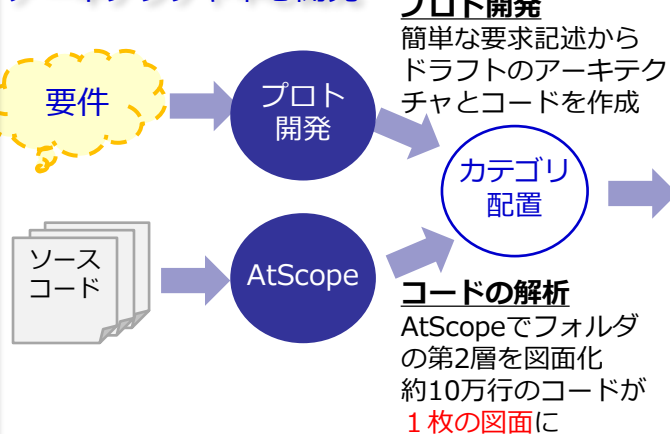
資産化

プラットフォーム化
プロダクトライン化

4つのサービス



アーキテクチャ中心開発

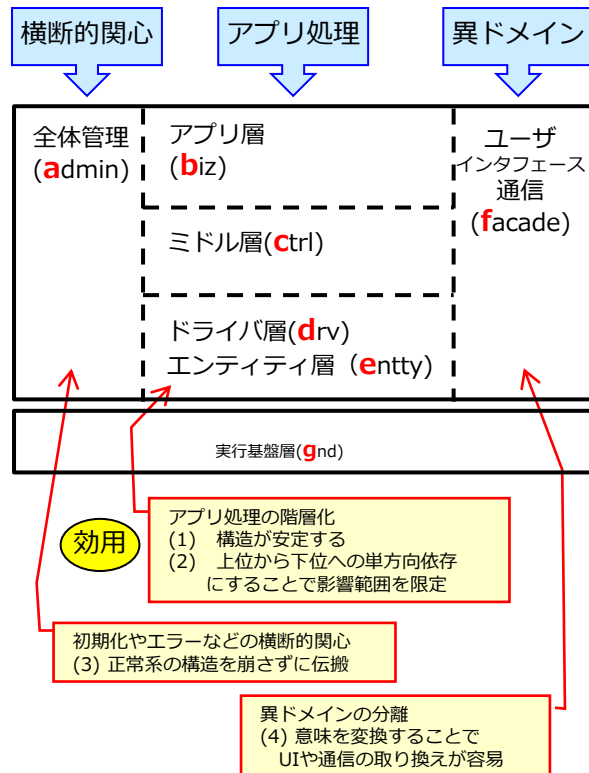


図面を用いた
リーダーシップ

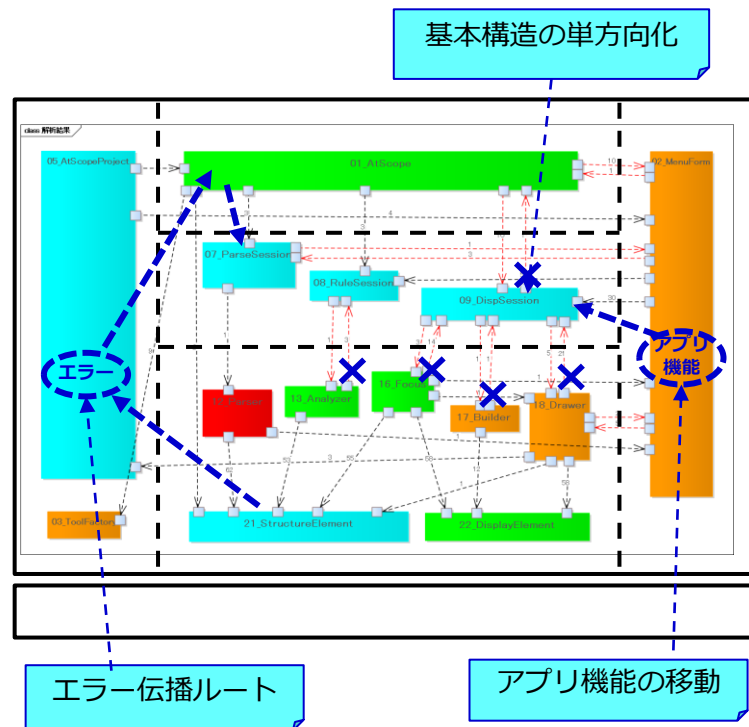
アーキテクチャ図面で設計意図の見える化

カテゴリ（フォルダ単位）の配置を変えることで、設計意図が見えてきます

配置テンプレート



カテゴリ構造図と改善ポイント



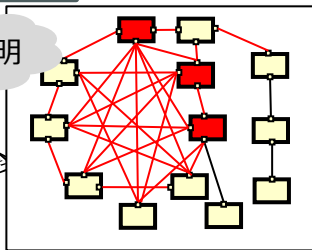
資産化の例：プロダクトライン化

動くコード

設計意図不明

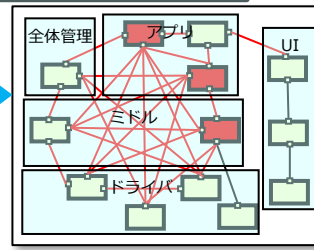


秘伝コード



影響範囲が分からない
品質が安定しない
想定しない不具合発生

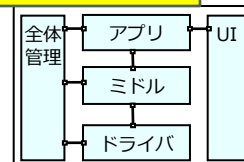
使えるコード



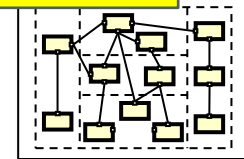
ソフトウェア資産

1. 長持ちし置換しやすいソースコード
2. 全体を俯瞰するアーキテクチャ
3. 変動点を特定するフィーチャ
4. 変動点の機能確定時に応じた実装

カテゴリ構造図



ファイル構造図



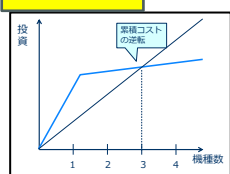
変動点定義



資産活用



投資対効果



サービス価格

サービス	期間	主な納品物	価格（税込）
ニーズ起点・コード起点 アーキテクチャ構築	3週間	カテゴリ構造図、カテゴリ間IF定義 設計意図の復元案	160万円 (176万円)
アーキテクチャ改善	3週間～	重大な課題箇所の改善例 (3週間以内で1項目に対応)	160万円／1項目 (176万円)
プラットフォーム化 プロダクトライン化	1カ月～	プラットフォーム成果物（カテゴリIF） プロダクトライン成果物（変動点定義）	120万円／月 (132万円／月)